

苗場山麓ジオパーク学術研究実施報告書（鑑文）

平成 30 年 1 月 31 日

団体名（所属） 船津川の自然を考える会

代表者名（氏名） 林 幸大

1 研究の名称

船津川の自然を考える会

2 研究のテーマ

船津川の流路、生体、水生生物などの生息環境を考える

3 調査・研究等の日程と概要（調査区域や地点・調査方法など）

※これまでの実績と今後の予定

日程	主な調査・研究等の概要
平成 29 年	
4 月 13 日	打ち合わせ・反里口現地調査
6 月 7 日	現地調査(旧中津小学校)
6 月 28 日	現地調査(船山)
7 月 13 日	現地調査(陣場下・割野)
7 月 28 日	現地調査(割野)
8 月 5 日	現地調査(旧中津小学校裏)
9 月 9 日	現地調査(割野)
9 月 30 日	現地調査(陣場下)
平成 30 年	
1 月 31 日	全調査・研究終了

4 調査・研究結果（概要）

平成 29 年 4 月に調査を開始した。今年は主に船津川の水質調査を行った。その結果、それぞれの場所における生物層においては川の様相に関係して変化が見られるが、水質に関しては上流から下流にかけて変わることはなく、カゲロウ種やカワゲラ種が多く生息し、pH 値が 6.8 ～7.0 の間で安定しており、とてもきれいな場所だということが分かる。下流にいくとトビケラ種が多く見られるようになるが、カゲロウ種も見られるので問題ないように考えられる。ではなぜ船津川は水質が安定しているのか、それは、湧水が多く点在しているということ、また、船津川自体が短い川であるということが考えられる。

今回は流路など住民との関係性などの調査を行うことが出来なかった。

詳しい調査内容・結果に関しては添付する報告書を参照していただきたい。

※調査・研究結果がわかる資料を添付してください。